

ワイドスター III 屋外設置アンテナ

DishPointer を用いた アンテナの方向調整方法

最終更新日:2025年9月10日 1.0版

作成:NTT ドコモビジネス株式会社

更新履歴

更新日	資料バージョン	更新内容
2025年1月22日		初版
2025年4月30日		DishPointer の仕様変更にともない、操作手順と図を更新。
2025年7月31日		DishPointer の仕様変更にともない、操作手順と図を更新。
2025年9月10日	1.0 版	本資料の位置付け変更にともない、全体の内容を調整。

1. はじめに 本資料の位置付け

正確な方向調整は、安定した通信を行うために不可欠です。

本資料は、ワイドスターⅢ 屋外設置アンテナ設置工法書 (3.0 版)の

[2.5.1 アンテナ方向の調整] - 「手順④ 方向調整] にあたる内容を説明しています。

また、より正確で簡単に方向を確認するために、

DishPointer というサイトを利用する方法についてご案内します。

工法書の内容とあわせてご確認いただき、本資料を参考に、適切な設置・調整を行ってください。



2. 屋外設置アンテナ方向調整手順

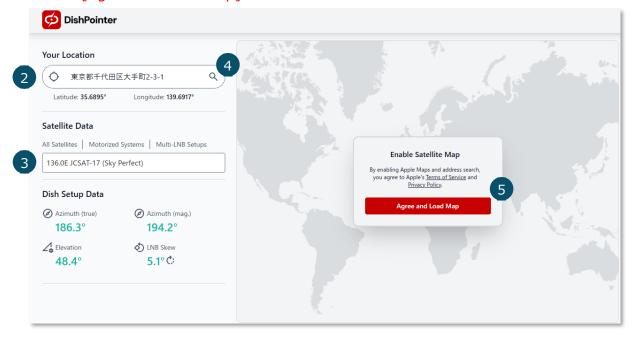
STEP 1 DishPointer で衛星の方向を確認する

インターネット接続用の電波が届かない場所では DishPointer はご利用いただけません。 事前に、本手順で確認した画像を印刷し、設置場所へご持参ください。

- 1. PC またはスマートフォンの Web ブラウザで[DishPointer]にアクセスします。
 - f https://www.dishpointer.com/
- 2. [Your location]にワイドスターⅢを利用する場所の住所を入力します。
 - ※ 地図に掲載されている建物名や施設名を入力することもできます。

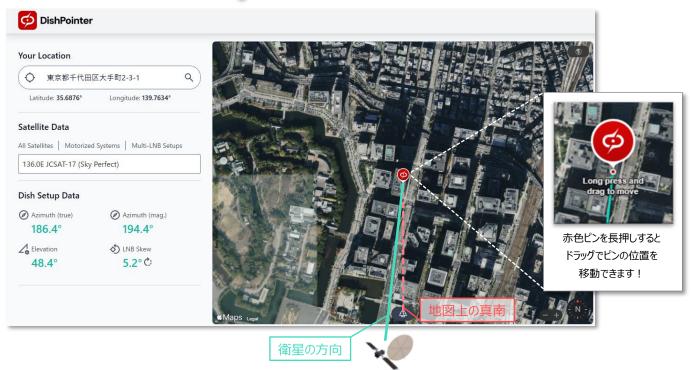


- 4. [Q]ボタンをクリックします。
- 5. 地図上の[Agree and Load Map]ボタンをクリックします。



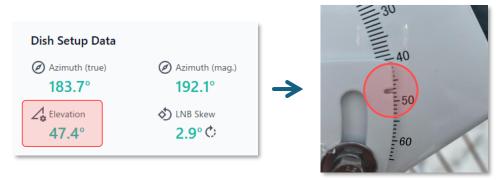


6. 地図上に、入力住所を表す赤色のピン ♥ と衛星方向を表す緑色の線が表示されます。



STEP2 | 仰角をあわせる

7. DishPointer で確認した [Elevation] の値と外部アンテナのメモリをあわせます。

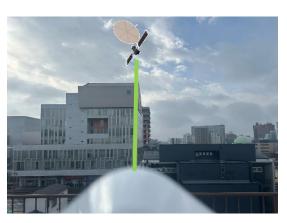


STEP3 | 方位角をあわせる

8. 黄緑色の線上に、ビル・鉄塔など大きな建物や、看板などの目印を見つけます。 目の前ではなく、可能なかぎり遠くが好ましいです。

屋外設置アンテナの真後ろに立ち、屋外設置アンテナの方向と目印が一直線になるよう調整します。





方向の基準となる建物がない、山や海に囲まれている、周囲が壁などで見渡せないときは...

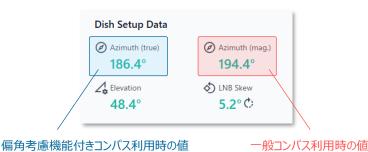
DishPointer での調整が困難な場合(方向の基準となる建物がない、山や海に囲まれている、周囲が壁などで見渡せないなど)は、方位磁針やスマートフォンのアプリをご利用ください。

コンパスやスマートフォンのアプリを利用した測定は、地磁気の影響や GPS の誤差により測定精度が低下する可能性があります。あくまで参考としてご利用いただき、最終的には受信レベルランプの状態を確認しながら微調整してください。

DishPointerでの調整が困難な場合 1 コンパスを利用して方向を調整する

コンパスで方向を確認される際は、以下の点にご注意ください。

- コンパスが指す北は地磁気(地場)の影響を受けるため、地図が示す北との間にズレ(偏角)が生じます。
- 一般的なコンパスやスマートフォン(偏角を考慮する機能がない)を使用する場合は、 [Azimuth (mag.)](磁北)の値をご利用ください。
- 偏角考慮機能付きコンパスを利用する場合は、[Azimuth (true)] (真北)の値をご利用ください。



DishPointerでの調整が困難な場合 2 | スマートフォンのアプリを利用して方向を調整する

スマートフォン向けに「ワイドスターⅢ」アプリを利用することができます。 QR コードからアクセスして、アプリをダウンロードしてください。



スマートフォンの GPS による現在地情報と、 内蔵された地磁気センサー(デジタルコンパス)を 用いて、衛星の方向を画面上に表示します。

海上や山間部など、スマートフォン通信が不安定な 場所では使用できませんのでご注意ください。

赤色で修正が必要なことをお知らせ



青色で**正しい方向**であることをお知らせ

